



シナリオ

- シナリオを追加する (1 ページ)
- ワークロードがある [シナリオ (Scenarios)] ページ (3 ページ)
- シナリオのタスク (7 ページ)
- VM およびデスクトップまたはそのいずれかの数の変更 (8 ページ)
- クラスタ全体にわたるワークロードの結果の表示 (9 ページ)
- サイジング オプションをカスタマイズする (9 ページ)

シナリオを追加する

次のステップでは、シナリオを追加する方法について説明します。

ステップ 1 HyperFlex Sizer のホームページで、**[シナリオの追加 (Add Scenario)]** ボタンをクリックします。[シナリオの追加 (Add Scenario)] ウィンドウが次のように表示されます。

ステップ2 [シナリオの追加 (Add Scenario)] ウィンドウで、次のフィールドに値を入力します。

| フィールド名 | 説明 |
|---------------------------|--|
| 名前 (Name) | <p>サイジングシナリオの名前を入力します。名前を作成するには、次のガイドラインを使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> シナリオ名の先頭にはアルファベット文字を使用する必要があります。 英数字のみを使用してください。区切り文字として、アンダースコア、ハイフン、プラス記号を使用できます。 特殊文字は使用できません。 シナリオ名は一意であることが必要です。 |
| アカウント | (オプション) |
| [SFDC案件ID (SFDC Deal Id)] | (オプション) |

ステップ3 [Save (保存)] をクリックします。

これで、[シナリオの詳細 (Scenario Details)] ページにリダイレクトされます。

ワークロードがある [シナリオ (Scenarios)] ページ

HyperFlex Sizer の [シナリオの詳細 (Scenario Details)] ページには、作成したワークロードがある場合にそのすべての一覧が表示されます。

HyperFlex Sizer の Web アプリケーションで提供されるさまざまなオプションを使用して、[シナリオの詳細 (Scenario Details)] ページでそれぞれのワークロードをサイジングできます。オールフラッシュと最小コストのいずれかのサイジング オプションを選択して、HyperFlex クラスタで使用できる推奨のサイジング構成を表示できます。

サイジングのためのノードとパーツは、標準化した CPU に基づいて選択されます。

標準化されたコア数：

あるプロセッサのコアのパフォーマンスは、別のプロセッサのものとは異なります。CPU のパフォーマンスは、同一タイプでもプロセッサの世代ごとに異なります。HyperFlex Sizer は、SpecInt と CFP の値を使用してノードの実効コアを計算し、Intel E5-2630 v4 の SpecInt/CFP 値に標準化します。

[再サイジング (Resize)] ボタン：バージョンが適切でない古いシナリオを最新バージョンにして、再度サイジングできます。



- (注) シスコでは、**オールフラッシュ** オプションを使用することを推奨しています。オールフラッシュ オプションでは、パフォーマンスに優れた最適なサイジングオプションが HyperFlex クラスタに設定されます。

この項で説明するフィールドは、**[最小コスト (Lowest_Cost)] タブ**と**[オールフラッシュ (All-Flash)] タブ**の両方の下に次のように表示されます。

| Cluster | Settings | Part | Type | Description | Count |
|---------|----------|------|------|-------------|-------|
| | | | | | |

[シナリオの詳細 (Scenario Details)] ページ

| UI 要素 | 説明 |
|-----------------------------------|---|
| [しきい値 (Threshold)] チェックボックス | サイジングのしきい値を次のいずれかに設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • [標準 (Standard)] : (デフォルト) • [コンサーバティブ (Conservative)] • [アグレッシブ (Aggressive)] |
| [ノード選択 (Node Choice)] チェックボックス | サイジングを計算するノードのタイプを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • [HyperFlex とコンピューティング (HyperFlex & Compute)] : デフォルト • [HyperFlex のみ (HyperFlex Only)] |
| [集約サマリー (Aggregate Summary)] カラム | 一定数のワークロードについて、クラスタ、ノード、およびラックユニットの推奨数が表示されます。 |
| [使用率 (Utilization)] カラム | <p>予測されるハードウェアリソースの使用率、つまり、CPU、RAM、ストレージキャパシティ、およびワークロードのストレージ IOPS を表示します。</p> <p>使用率には次の 3 つのコンポーネントがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [障害なし (With no failures)] : レプリケーションが有効になっているワークロードでは、リソース使用率にレプリケーションのオーバーヘッドが含まれます。 • [ローカル障害あり (With local failures)] : 障害の数は、[パフォーマンスのヘッドルーム (Performance Headroom)] のパラメータを指定するために使用されるサイジングパラメータと一致します。レプリケーションが有効になっているワークロードの場合、リソース使用率にはレプリケーションのオーバーヘッドが含まれます。 • [未使用/空き (Unused/Free)] : ワークロードのレプリケーションが有効になっている場合にのみ適用されます。DR パートナークラスタに障害が発生し、そのクラスタ上で実行中のワークロードが移動したときのリソース使用率を表示します。 |

| UI 要素 | 説明 |
|-----------------------------|---|
| [ノードの結果 (Node Results)] カラム | <p>すべてのクラスタまたは個々のクラスタの複合ノードの結果を表示できます。次の結果が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [クラスタ (Cluster)] : HX クラスタの名前 • [設定 (Settings)] : HX クラスタの特定の設定 (設定されているレプリケーション係数など) • [部品 (Part)] : 部品番号 • [タイプ (Type)] : ノードのタイプ • [説明 (Description)] : ノードのプロパティ • [カウント (Count)] : ノードの数 |

[カスタマイズ (Customize)] ボタン

[カスタマイズ (Customize)] をクリック後、サイジング用の HX クラスタ ワークロードのタイプを選択してカスタマイズし、[適用 (Apply)] をクリックします。次のオプションを使用して、ワークロードのサイジングをカスタマイズできます。

| UI 要素 | 説明 |
|---|--|
| [しきい値 (Threshold)] ボタン | <p>サイジングのしきい値を次のいずれかに設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [標準 (Standard)] : (デフォルト) • [コンサーバティブ (Conservative)] • [アグレッシブ (Aggressive)] |
| [ソフトウェアコストを含める (Include Software Cost)] ボタン | <ul style="list-style-type: none"> • <input type="radio"/> • [いいえ (No)] |
| [ノード選択 (Node Choice)] ボタン | <p>サイジングするノードのタイプを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [HyperFlex とコンピューティング (HyperFlex & Compute)] : デフォルト • [HyperFlex のみ (HyperFlex Only)] |
| [サイジングオプション (Sizing Option)] ボタン | <ul style="list-style-type: none"> • [バンドルのみ (Bundle Only)] : バンドルのサイズだけを変更します。 • [バンドルと CTO (Bundle & CTO)] : バンドルと、バンドルを注文するための設定の両方のサイズを変更します。 |

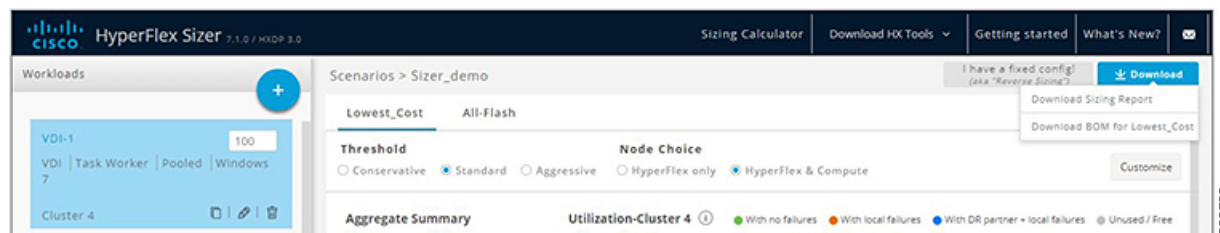
| UI 要素 | 説明 |
|--|--|
| [サーバータイプ (Server Type)] ボタン | サイジングの対象となるサーバーのタイプを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • すべて • [M4サーバー (M4 Server)] • [M5サーバー (M5 Server)] |
| [ディスクオプション (Disk Option)] ボタン | ディスクのタイプを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • すべて • [SED のみ (SED Only)] (自己暗号化ドライブのみ) • NVMe (Non-Volatile Memory Express) |
| [モジュラ型LAN (Modular LAN)] ボタン | <ul style="list-style-type: none"> • すべて • [40G VIC] |
| [HyperFlex ノード (HyperFlex Nodes)], [コンピューティングノード (Compute Nodes)], [CPU], [RAM スロット (RAM Slots)], [ディスクオプション (Disk Options)], および [モジュラ型 LAN (Modular LANs)] をカスタマイズすることもできます。 | |

[ダウンロード (Download)] ボタン

次の 2 つの形式で HxSizer からサイジングレポートをダウンロードできます。

サイジングレポートのダウンロード

選択したオプションについて、サイジング入力、提案されたサイジング設定、ワークロードの要約、集約ワークロードの要件、およびリソースの使用率のすべての詳細を表示できます。[シナリオ (Scenario)] ページの右上隅にある [ダウンロード (Download)] ボタン (次を参照) をクリックし、[サイジングレポートのダウンロード (Download Sizing Report)] をクリックします。



オールフラッシュおよび最小コストの BOM のダウンロード

詳細な部品表（BOM）は、Excel スプレッドシートとして、[オールフラッシュ（All-Flash）] オプションと [最小コスト（Lowest Cost）] オプションに対して個別に使用できます。この Excel シートは、Cisco Commerce Workspace（CCW）に直接ロードできます。

固定構成（逆サイジング）

固定設定（「逆サイジング」ともいう）では、ワークフローが固定された HX 設定で開始され、特定のワークロードのセットが実行されるかどうかを検証するのに役立ちます。一方、通常のサイジングでは、ワークフローを実行することで、一連のワークロードに対する最適なコストの HX 構成が特定されます。詳細については、「[固定（リバース）構成のサイジング](#)」を参照してください。

シナリオのタスク

既存のシナリオを表示するには、HyperFlex Sizer の [マイシナリオ（My Scenarios）] タブに移動します。既存のシナリオでは、次のタスクを実行できます。

シナリオの複製

[既存のシナリオの [複製（Clone）] アイコンをクリックしてシナリオのコピーを作成し、次のフィールドに値を入力します。

| フィールド名 | 説明 |
|--------------------------|---|
| 名前（Name） | サイジングシナリオの名前を入力します。名前を作成するには、次のガイドラインを使用します。 <ul style="list-style-type: none"> シナリオ名の先頭にはアルファベット文字を使用する必要があります。 英数字のみを使用してください。区切り文字として、アンダースコア、ハイフン、プラス記号を使用できます。 特殊文字は使用できません。 シナリオ名は一意であることが必要です。 |
| アカウント | (オプション) |
| [SFDC案件ID（SFDC Deal Id）] | (オプション) |

シナリオの編集

既存のシナリオの [編集（Edit）] アイコンをクリックして、[Scenario name（シナリオ名）]、[アカウント（Account）]、または [SFDC デール ID（SFDC Deal ID）] を編集します。

シナリオ (Scenario) の共有

既存のユーザーまたは新規ユーザーとシナリオを共有するには、次の手順を実行します。

1. シナリオを共有するには、既存のシナリオの [共有 (Share)] アイコンをクリックします。
2. [ユーザーの選択 (Select User)] ドロップダウンリストをクリックして、表示されたリストからユーザーを追加します。
3. ユーザーには、次のアクセス権限を設定できます。
 - [読み取り専用アクセス (Read-only Access)] : ユーザーはこのシナリオにアクセスできるだけで、変更することはできません。
 - [読み取り/書き込みアクセス (Read and Write Access)] : ユーザーには、シナリオを変更したり、新しいワークロードを追加したり、既存のワークロードを変更したりする権限があります。

リストにユーザー名が表示されない場合は、[ユーザー名 (User Name)] フィールドに有効なユーザー ID を入力し、**Enter** を押します。

4. [保存 (Save)] をクリックします。

自分と共有されているシナリオのリストは、[自分の共有状況 (Shared with me)] タブで確認できます。シナリオの所有者とシナリオを共有しているユーザーに関する詳細情報は、[共有シナリオ (Shared Scenarios)] ページで確認できます。

シナリオの削除

シナリオを削除するには、既存のシナリオの [削除 (Delete)] アイコンをクリックします。

VM およびデスクトップまたはそのいずれかの数の変更

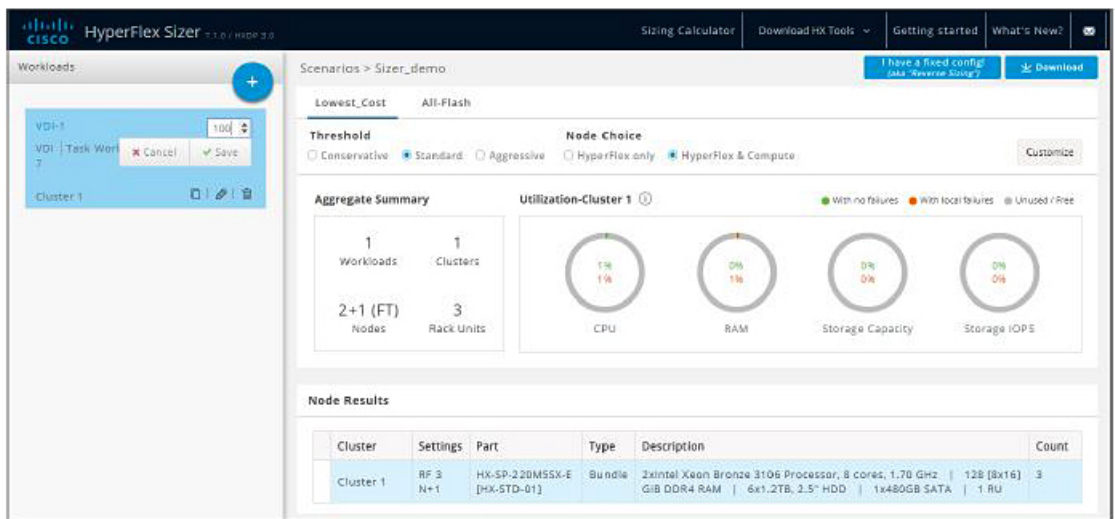
デフォルト値を変更するには、[カスタマイズ (Customize)] をクリックします。



注目 推奨値はパフォーマンス テストに基づいているため、変更する場合は注意する必要があります。

デスクトップ数/VM 数を変更するには、次の手順を実施します。

ステップ 1 [ワークロードリスト (Workloads List)] の値を変更します ([カウント (Count)] ボックスの任意のワークロードのもの、次を参照) 。



ステップ2 [保存 (Save)] をクリックします。

クラスタ全体にわたるワークロードの結果の表示

クラスタ全体のワークロードの結果を表示するには、次の手順を実行します。

ステップ1 [ノードの結果 (Node Results)] の下の [クラスタ 1 (Cluster 1)] をクリックして、クラスタ 1 に属しているすべてのワークロードを表示します。サマリーと使用率の詳細は、クラスタ 1 に基づいて表示されます。

ステップ2 [クラスタ 2 (Cluster 2)] ([ノードの結果 (Node Results)] の下) をクリックして、クラスタ 2 の詳細を表示します。

サイジング オプションをカスタマイズする

サイジング オプションをカスタマイズするには、次の手順を実施します。

ステップ1 画面右上の [カスタマイズ (Customize)] ボタンで、[Hyperflex ノード (Hyperflex Nodes)]、[コンピューティング ノード (Hyperflex Nodes)]、[CPU]、[RAM スロット (RAM Slots)]、および [RAM] オプションをカスタマイズします (以下を参照) :

サイジングオプションをカスタマイズする

Customize Lowest_Cost Option

Global Setting

Threshold
 Conservative Standard Aggressive

Include Software Cost
 Yes No

Discount %
 Bundle: CTO:

Node Filter

Node Choice
 HyperFlex only HyperFlex & Compute

Sizing Option
 Bundle Only Bundle & CTO

Server Type
 All M4 Server M5 Server

Disk Option
 All SED Only NVMe Only Coldstream Only

Modular LAN
 All 40G VIC

| Hyperflex Nodes | Compute Nodes | CPU | SAS Slots | RAM | Disk Capacity | GPU |
|---|--|--|---|--|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> All | <input checked="" type="checkbox"/> All | <input checked="" type="checkbox"/> All | <input checked="" type="checkbox"/> All | <input checked="" type="checkbox"/> All | <input checked="" type="checkbox"/> All | <input checked="" type="checkbox"/> All |
| <input checked="" type="checkbox"/> HXAF-SP-220 | <input checked="" type="checkbox"/> B200 | <input checked="" type="checkbox"/> 3104 | <input checked="" type="checkbox"/> 8 | <input checked="" type="checkbox"/> 16GB_DDR4 | <input checked="" type="checkbox"/> 960GB [SSD] | <input checked="" type="checkbox"/> M10 |
| <input checked="" type="checkbox"/> HXAF-SP-210 | <input checked="" type="checkbox"/> C210 | <input checked="" type="checkbox"/> 3106 | <input checked="" type="checkbox"/> 12 | <input checked="" type="checkbox"/> 32GB_DDR4 | <input checked="" type="checkbox"/> 1.2TB [HDD] | <input checked="" type="checkbox"/> M80 |
| <input checked="" type="checkbox"/> HXAF-220 | <input checked="" type="checkbox"/> C240 | <input checked="" type="checkbox"/> 4108 | <input checked="" type="checkbox"/> 16 | <input checked="" type="checkbox"/> 64GB_DDR4 | <input checked="" type="checkbox"/> 1.8TB [HDD] | <input checked="" type="checkbox"/> P40 |
| <input checked="" type="checkbox"/> HXAF-240 | | <input checked="" type="checkbox"/> 4110 | <input checked="" type="checkbox"/> 12 | <input checked="" type="checkbox"/> 128GB_DDR4 | <input checked="" type="checkbox"/> 2.8TB [SSD] | <input checked="" type="checkbox"/> T150X2 |

Cancel Apply

ステップ2 さらに[しきい値 (Threshold)]、[ノード選択 (Node Choice)]、[サイジングオプション (Sizing Option)]、および[ディスク オプション (Disk Option)]をカスタマイズすることもできます。[ディスク オプション (Disk Option)]では、[ストレージ暗号化ディスク (Storage Encrypted Disks)]、[NVMe]、または[Coldstream]を選択できます。

ステップ3 [適用 (Apply)]をクリックします。変更されたオプションが保存され、新しい結果が[シナリオ (Scenario)]ページから表示されます。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。